

2023 年度 カムイワッカ湯の滝利活用検討事業 実施計画 (案)

(旧：カムイワッカ湯の滝 1 の滝以奥再利用検討事業)

1. 事業概要

カムイワッカ湯の滝上部区域の利用再開をめざし、そのために必要となる諸条件を整理し、試行事業や調査事業を通じて利用者及び現地管理に関する各種データの収集と分析を行い、本格運用に向けた管理運営体制の検討と構築を行う。

2. 事業主体及び検討の枠組み

事業提案・調整（事務局機能）や試行事業、調査事業の運営は、斜里町、知床斜里町観光協会、知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化対策協議会等が連携して行う。

関係機関・団体との協議及び意見調整は、主にカムイワッカ部会（部会と事務局会議）の場を活用して行い、合意形成を図る。

部会での協議・検討結果は、適正利用・エコツーリズム検討会議に報告し、専門家からの助言や同意を得る。

3. 2023 年度試行事業概要

(1) 事業概要

	試行事業 A	試行事業 B
(1) 形態	ガイド引率型	個人利用型
(2) 期間	7/1～10/1 の 93 日間	
(3) 要件等	知床ガイド協議会会員の企画するツアーに参加	専用オンラインシステムにより個人申し込み。レクチャー受講、リスク同意、ヘルメット着用など。
(4) 人数	ガイド 1 名あたり参加者は 6 名まで	1 日あたりの上限 210 名 1 時間あたりの上限 30 名
(5) 費用負担	参加者 1 名あたり 1,000 円の協力をガイド事業者が徴収し、納入する	予約時に大人 2,000 円、子供(小中学生) 500 円を納入。シャトルバス運行期間は 800 円を加算。
(6) 現地補助体制	入口及び川に計 3 名以上の補助員を配置	

(2) 2022 年度との主な変更点と、その経過及び特記事項

- ① 2021 年に下部区域（入渓地点から規制ラインより下）で落石が発生し、2022 年度に実施した落石調査の結果、比較的安全とされてきた下部区域の右岸側斜面にも浮石が多いことが判明。従来、自由に利用できた下部区域の利用のあり方の再検討が必要となる。
- ② カムイワッカ部会で協議の結果、2021 年度及び 2022 年度の試行事業を踏まえ、上下区域を統合し、全体を制限利用区域とすることとする。
- ③ これにともない、試行事業の名称を変更し（「カムイワッカ湯の滝 1 の滝以奥再利用検討事業」から「カムイワッカ湯の滝活用検討事業」に変更）、また、試行事業期間も 2024 年度までと 1 年延長した。
- ④ また、カムイワッカ湯の滝全域をバックカントリーエリアと位置づけ、利用者にはリスクへの同意、自己責任による利用を求めることとした。
- ⑤ 期間を 93 日間とし、予約受付事務との軽減のため、オンラインによる事前予約・決済制へと変更することとした。
- ⑥ 上部区域で適用していた 1 時間 30 名の人数は変わらないものの、7 時間枠とすることで 1 日あたりの上限人数を 150 名から 210 名へと拡大させた。
- ⑦ 93 日の全期間、現地管理に 3 名を常駐させ、混乱の防止に努めることとした。
- ⑧ 上下統合により、利用者の現地滞留時間が延びることが予想されるため、シャトルバス運行期間を大幅に伸ばすこととした。また、混乱防止のため、自然センター～カムイワッカ間の直行バスとした。
- ⑨ 今年度の試行事業内容変更にあたっては、観光庁の調査事業「観光再始動事業」の支援を受けて実施することとした。

(3) 2023 年度予算（案）

資料 3-2 のとおり。